

## 運用報告書 (全体版)

第4期&lt;決算日2024年7月16日&gt;

グローバルESGハイクオリティ  
成長株式ファンド (為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2020年7月20日から2050年7月14日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド受託証券を主要投資対象とします。
	グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド	わが国および新興国を含む世界の金融商品取引所に上場する株式 (上場予定を含みません。)* を主要投資対象とします。 (* DR (預託証券) もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
運用方法	マザーファンドのポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESG <sup>(*)</sup> への取り組みなどの評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。 (* 「ESG」とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の略称です。 ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される銘柄を選定します。マザーファンドの運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに株式等の運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部 (株式等の投資判断の一部) を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに再委託します。 マザーファンド受託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 決算日 (原則として7月14日、休業日の場合は翌営業日。) に繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。*) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	
分配方針		

&lt;運用報告書に関するお問い合わせ先&gt;

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

愛称：未来の世界 (ESG)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)」は、2024年7月16日に第4期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

## グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）

### ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額					株式組入率 株比	株式先物率 株比	純資産額 純総
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
(設定日) 2020年7月20日	円 10,000		円 -		% -	% -	% -	百万円 383,033
1期(2021年7月14日)	12,755		0		27.6	97.8	-	1,146,069
2期(2022年7月14日)	9,331		0		△26.8	94.4	-	803,909
3期(2023年7月14日)	12,997		0		39.3	97.7	-	972,294
4期(2024年7月16日)	17,816		0		37.1	96.7	-	1,120,394

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

### ■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式組入率 株比	株式先物率 株比
		騰落率		
(期首) 2023年7月14日	円 12,997	% -	% 97.7	% -
7月末	13,162	1.3	94.5	-
8月末	13,429	3.3	97.3	-
9月末	12,873	△1.0	97.1	-
10月末	12,681	△2.4	98.3	-
11月末	14,532	11.8	96.8	-
12月末	14,784	13.7	98.3	-
2024年1月末	15,877	22.2	98.0	-
2月末	17,033	31.1	95.5	-
3月末	17,317	33.2	95.6	-
4月末	17,250	32.7	96.1	-
5月末	16,852	29.7	97.2	-
6月末	18,233	40.3	98.3	-
(期末) 2024年7月16日	17,816	37.1	96.7	-

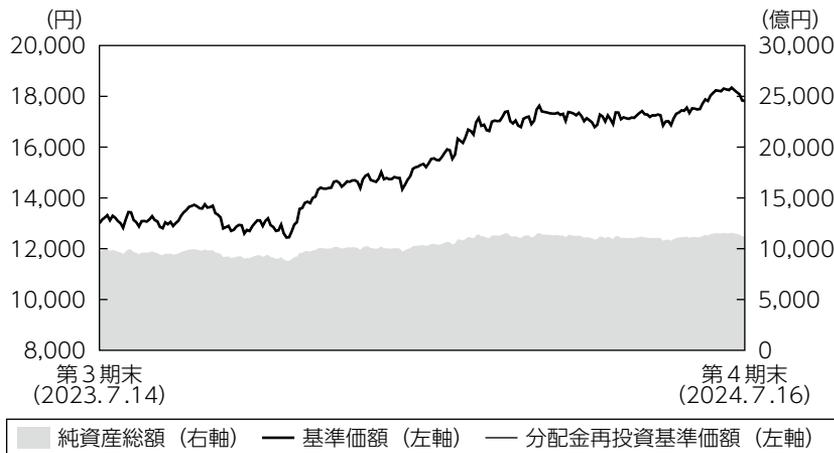
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2023年7月15日から2024年7月16日まで）

### 基準価額等の推移



第4期首：12,997円  
第4期末：17,816円  
(既払分配金0円)  
騰落率：37.1%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国でインフレが沈静化し、金融引き締め懸念が後退したことや、生成AI関連需要の拡大などを背景に、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移したことが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、一般消費財・サービスや情報技術、コミュニケーション・サービスセクターなどの保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与しました。また、米ドルやユーロが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

## 投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。当期前半は、米国で金利が上昇し景気への影響が懸念されたことや、中東情勢の緊迫化などから、軟調な展開となりました。しかし2023年11月以降は、米国などにおけるインフレの沈静化を背景に、金融政策が緩和に転じるとの期待が高まり上昇に転じました。米国を中心に経済指標が底堅さを維持したことや、生成AI関連需要の追い風を受けたテクノロジー企業を中心に、企業業績が堅調に推移したことも寄与し、期後半も上昇が続きました。

為替市場では、米ドルやユーロなど主要通貨に対して円安が進みました。日銀が金融緩和策を維持し、欧米との金利差が大きい状態が継続したことや、米国の景気が堅調に推移したことが円安につながりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を、期を通じて高位に維持するよう運用しました。

### ●グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESGへの取り組みなどの評価に基づき選定した、質が高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し投資を行いました。個別銘柄選択の結果として、情報技術や一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位としました。一方で、生活必需品やエネルギー、公益といったセクターには投資を行いませんでした。また、純資産総額のうち、ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額（時価ベース）の比率は、当期末は97.3%となりました。

個別銘柄については、運用チーム独自の観点によるESG評価（アライメント）等に基づいて、適宜組入比率の調整を行いました。例えば、無名のクリエイターの活動を支援したり、女性を積極的に採用・登用しているスポティファイ・テクノロジー（メダルレーティング：シルバー）のウェイトを引き上げました。他方で、経営陣や従業員のダイバーシティ推進に積極的に取り組むとともに、温暖化ガス排出量の削減を推進しているウォルト・ディズニー・カンパニー（メダルレーティング：ブロンズ）のウェイトを引き下げました。

※運用状況については13～19ページをご参照ください。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年7月15日 ～2024年7月16日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,815円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド

米国の景気後退懸念が後退する一方、米大統領選挙を巡る不透明感などから、株式市場は変動の大きな展開が予想されます。ポートフォリオで保有しているのは、E S Gへの取り組みに優れ、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。運用にあたっては、引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視し少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	(2023年7月15日 ～2024年7月16日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	286円	1.858%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,384円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(170)	(1.106)	
(販売会社)	(111)	(0.719)	
(受託会社)	( 5)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	2	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 2)	(0.010)	
(d) その他費用	2	0.011	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 1)	(0.009)	
(監査費用)	( 0)	(0.000)	
(その他)	( 0)	(0.002)	
合計	290	1.886	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

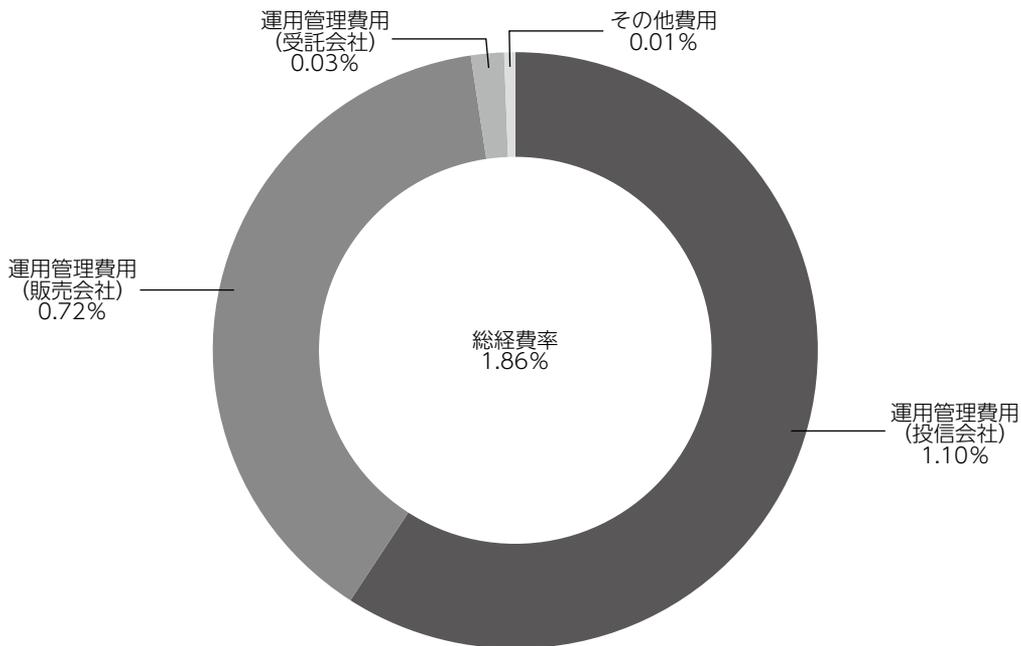
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年7月15日から2024年7月16日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド	－	－	122,337,475	197,833,000

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	410,478,301千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,005,450,508千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.40

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2023年7月15日から2024年7月16日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド	702,851,436	580,513,960	1,113,599,931

## ■投資信託財産の構成

2024年7月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド	1,113,599,931	98.3
コール・ローン等、その他	18,984,044	1.7
投資信託財産総額	1,132,583,976	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2024年7月16日現在、グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンドは1,080,886,256千円、97.1％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年7月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=158.45円、1デンマーク・クローネ=23.13円、1ユーロ=172.57円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月16日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,132,583,976,029円
コール・ローン等	18,984,044,770
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式マザーファンド(評価額)	1,113,599,931,259
(B) 負 債	12,189,725,508
未 払 解 約 金	1,925,226,274
未 払 信 託 報 酬	10,262,563,277
そ の 他 未 払 費 用	1,935,957
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,120,394,250,521
元 本	628,885,004,496
次 期 繰 越 損 益 金	491,509,246,025
(D) 受 益 権 総 口 数	628,885,004,496口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	17,816円

(注) 期首における元本額は748,104,250,599円、当期中における追加設定元本額は13,635,936,156円、同解約元本額は132,855,182,259円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年7月15日 至2024年7月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	323,776円
受 取 利 息	1,891,733
支 払 利 息	△1,567,957
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	319,272,569,598
売 買 損 益	346,260,080,853
買 入 損 益	△26,987,511,255
(C) 信 託 報 酬 等	△19,308,115,985
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	299,964,777,389
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	139,075,373,870
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	52,469,094,766
(配 当 等 相 当 額)	(17,887,444,441)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,581,650,325)
(G) 合 計(D+E+F)	491,509,246,025
次 期 繰 越 損 益 金(G)	491,509,246,025
追 加 信 託 差 損 益 金	52,469,094,766
(配 当 等 相 当 額)	(17,893,427,846)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,575,666,920)
分 配 準 備 積 立 金	439,040,151,259

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に関わる権限を委託するために要する費用は、6,793,694,466円で、委託者報酬から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,200,569,703円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	296,764,207,686
(c) 収 益 調 整 金	52,469,094,766
(d) 分 配 準 備 積 立 金	139,075,373,870
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	491,509,246,025
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	7,815.57
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

## 《お知らせ》

### 約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド」において、新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。

(2023年10月14日)

■信託期間を延長し、償還日を2050年7月14日とする変更を行いました。

(2023年10月14日)

# グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンド 運用報告書

第4期（決算日 2024年7月16日）

（計算期間 2023年7月15日～2024年7月16日）

グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年7月20日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	わが国および新興国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。） <sup>(*)</sup> を主要投資対象とします。 <sup>(*)</sup> DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 株比	株式先物率 株比	純資産額
	期騰落	中率			
（設定日） 2020年7月20日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 375,000
1期（2021年7月14日）	13,008	30.1	98.3	-	1,140,670
2期（2022年7月14日）	9,679	△25.6	94.8	-	799,930
3期（2023年7月14日）	13,737	41.9	98.4	-	965,533
4期（2024年7月16日）	19,183	39.6	97.3	-	1,113,583

（注1）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

（注2）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注3）当ファンドのコンセプトに合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

（注4）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

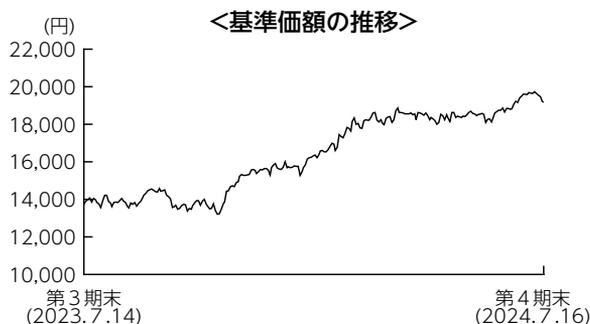
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
		騰	落		
(期 首) 2023年 7月 14日	円 13,737	% -		% 98.4	% -
7 月 末	13,923	1.4		94.9	-
8 月 末	14,228	3.6		97.8	-
9 月 末	13,657	△0.6		97.4	-
10 月 末	13,475	△1.9		98.4	-
11 月 末	15,466	12.6		97.1	-
12 月 末	15,756	14.7		98.5	-
2024年 1 月 末	16,956	23.4		98.4	-
2 月 末	18,224	32.7		95.9	-
3 月 末	18,555	35.1		95.8	-
4 月 末	18,511	34.8		96.3	-
5 月 末	18,111	31.8		97.3	-
6 月 末	19,620	42.8		98.2	-
(期 末) 2024年 7月 16日	19,183	39.6		97.3	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2023年7月15日から2024年7月16日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は19,183円となり、前期末比で39.6%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

米国でインフレが沈静化し、金融引き締め懸念が後退したことや、生成AI関連需要の拡大などを背景に、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移したことが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、一般消費財・サービスや情報技術、コミュニケーション・サービスセクターなどの保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与しました。また、米ドルやユーロが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

## 投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。当期前半は、米国で金利が上昇し景気への影響が懸念されたことや、中東情勢の緊迫化などから、軟調な展開となりました。しかし2023年11月以降は、米国などにおけるインフレの沈静化を背景に、金融政策が緩和に転じるとの期待が高まり上昇に転じました。米国を中心に経済指標が底堅さを維持したことや、生成AI関連需要の追い風を受けたテクノロジー企業を中心に、企業業績が堅調に推移したことも寄与し、期後半も上昇が続きました。

為替市場では、米ドルやユーロなど主要通貨に対して円安が進みました。日銀が金融緩和策を維持し、欧米との金利差が大きい状態が継続したことや、米国の景気が堅調に推移したことが円安につながりました。

## ポートフォリオについて

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESGへの取り組みなどの評価に基づき選定した、質が高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し投資を行いました。個別銘柄選択の結果として、情報技術や一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位としました。一方で、生活必需品やエネルギー、公益といったセクターには投資を行いませんでした。また、純資産総額のうち、ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額（時価ベース）の比率は、当期末は97.3%となりました。

個別銘柄については、運用チーム独自の観点によるESG評価（アライメント）等に基づいて、適宜組入比率の調整を行いました。例えば、無名のクリエイターの活動を支援したり、女性を積極的に採用・登用しているスポティファイ・テクノロジー（メダルレーティング：シルバー）のウェイトを引き上げました。他方で、経営陣や従業員のダイバーシティ推進に積極的に取り組むとともに、温暖化ガス排出量の削減を推進しているウォルト・ディズニー・カンパニー（メダルレーティング：ブロンズ）のウェイトを引き下げました。

## 【運用状況】

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 業種は各決算日時点でのG I C S (世界産業分類基準) によるものです。

(注3) 国別配分は、発行国 (地域) を表示しています。

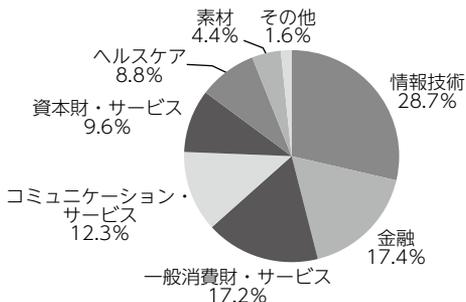
(注4) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注5) メダルレーティングはモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクの基準によるものです。

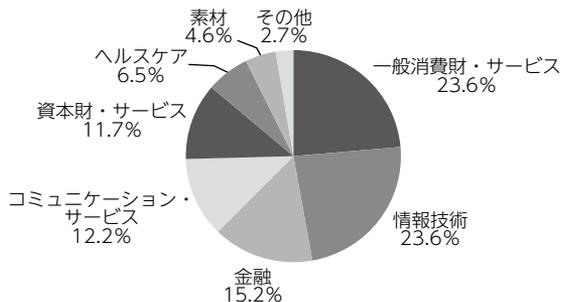
(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### ○業種別配分

#### 期首 (前期末)

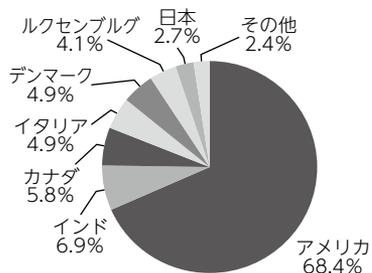


#### 期末

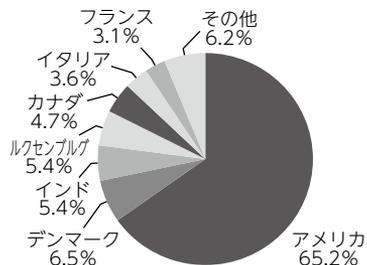


### ○国別配分

#### 期首 (前期末)

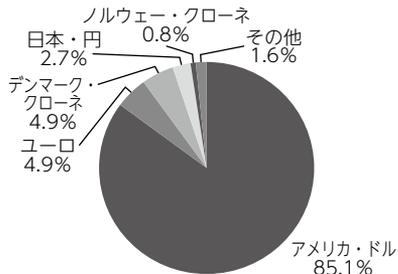


#### 期末

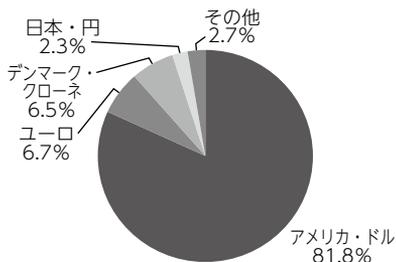


### ○通貨別配分

#### 期首 (前期末)



#### 期末



○組入上位10銘柄  
期首（前期末）

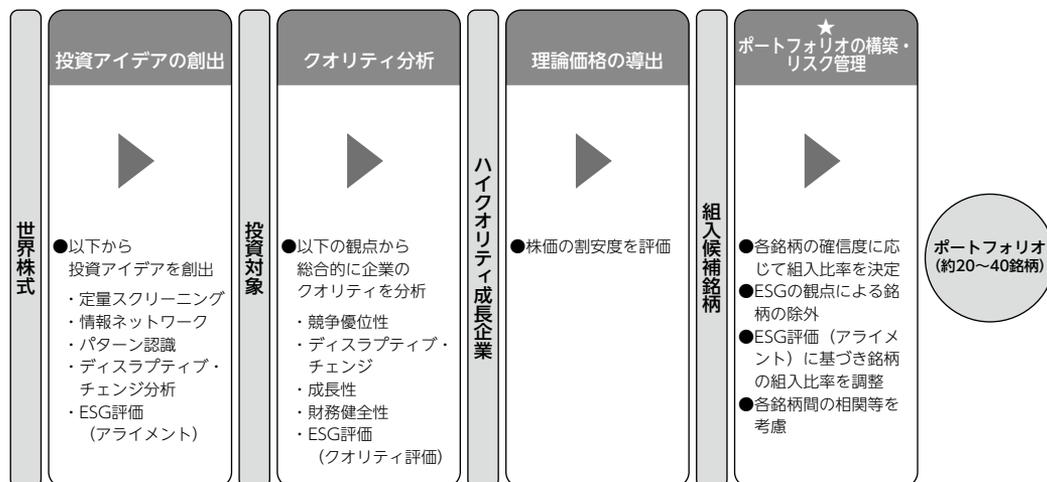
No.	銘柄名	メダルレーティング	通貨	比率
1	UBER TECHNOLOGIES INC	シルバー	アメリカ・ドル	8.8%
2	SERVICENOW INC	ゴールド	アメリカ・ドル	8.3
3	ADOBE INC	ゴールド	アメリカ・ドル	7.2
4	HDFC BANK LTD ADR	シルバー	アメリカ・ドル	6.9
5	SHOPIFY INC	シルバー	アメリカ・ドル	5.8
6	MONCLER SPA	シルバー	ユーロ	4.9
7	NOVO NORDISK A/S-B	ゴールド	デンマーク・クローネ	4.9
8	AMAZON.COM INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.8
9	SALESFORCE INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.7
10	THE WALT DISNEY CO	シルバー	アメリカ・ドル	4.4
組入銘柄数		23銘柄		



期末

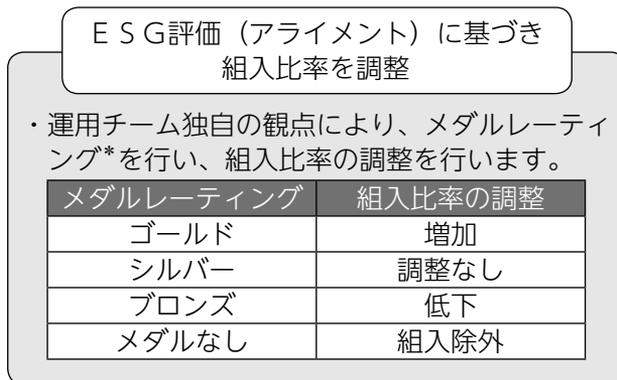
No.	銘柄名	メダルレーティング	通貨	比率
1	SERVICENOW INC	ゴールド	アメリカ・ドル	8.9%
2	UBER TECHNOLOGIES INC	シルバー	アメリカ・ドル	8.6
3	NOVO NORDISK A/S-B	ゴールド	デンマーク・クローネ	6.5
4	AMAZON.COM INC	シルバー	アメリカ・ドル	6.0
5	HDFC BANK LTD ADR	シルバー	アメリカ・ドル	5.4
6	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	シルバー	アメリカ・ドル	5.4
7	META PLATFORMS INC	ブロンズ	アメリカ・ドル	5.0
8	ADOBE INC	ゴールド	アメリカ・ドル	4.9
9	SHOPIFY INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.7
10	MERCADOLIBRE INC	シルバー	アメリカ・ドル	4.5
組入銘柄数		24銘柄		

## ○ご参考：当ファンドの運用プロセス



## ★ポートフォリオの構築・リスク管理

ポートフォリオの構築・リスク管理においては、各銘柄の確信度に応じて組入比率を決定します。環境や社会に望ましくないと考えられる業種や、企業統治の面で評価の劣る企業を除外します。ESG評価 (アライメント) に基づき、銘柄の組入比率を調整します。なお、各銘柄間の相関等も考慮します。



\*当運用プロセスにおけるメダルレーティングとは、HELP (ヘルプ=助ける) & ACT (アクト=行動を起こす) の観点により、ESGアライメント (ビジネス戦略とESGの整合性) を精査したうえで評価し、その評価に応じてゴールド、シルバー、ブロンズ、メダルなしへの分類を行うことをいいます。また、メダルレーティングに応じて銘柄の組入比率の調整を行います。HELP & ACTの観点でESGアライメントを精査することで、ハイクオリティ成長企業の競争優位性と成長性が長期にわたって持続的に維持可能か判断することができると運用チームでは考えます。

## ○主要組入銘柄のESGへの取り組みとビジネス戦略／企業価値との結びつき

### SERVICENOW INC

#### 概要

企業の業務を効率化する統合的サービス管理プラットフォームで世界最大手。今後も業務の合理化・自動化の進展に伴う市場の拡大を背景に、持続的な高成長が期待される。

メダルレーティング：ゴールド

#### ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【企業のデジタル変革を支援するプラットフォームを提供し、多様な働き方と生産性の改善に貢献することを目指す】

- ・再生可能エネルギー使用率100%を既に達成し、カーボンニュートラルの目標範囲をスコープ3に該当するデータセンター関連の排出等にも拡大。
- ・2030年までのネットゼロ達成を目指し、スコープ1、2、3の排出に対する2026年までの削減目標をコミット。このうちスコープ1、2の目標は2023年時点で達成。

#### 企業価値との結びつき

- ・事業が環境・社会に与える負の外部性は非常に限定的となっており、事業の持続性を高めている。また、ダイバーシティおよびインクルージョンにおけるリーダーシップが優秀な人材をひきつけ、テクノロジーの優位性をもたらしている。

### UBER TECHNOLOGIES INC

#### 概要

世界各地でアプリ上での配車サービスとウーバーイーツによる料理宅配サービス等を提供。事業規模の大きさや強いネットワーク効果、複数サービスを展開することによるシナジー効果は高く評価でき、今後も高い成長が見込まれる。

メダルレーティング：シルバー

#### ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【人々がどこへでも行けて、何でも手に入れられるような世界の実現を目指す】

- ・2040年までにグローバルで全ての乗車サービスをゼロエミッション車両、マイクロモビリティ、公共交通に完全に移行することを目指す。
- ・ドライバーの電気自動車への移行を促進するために8億ドルの支援プログラムを導入済み。
- ・2025年までに、欧州およびアジア太平洋の都市におけるフードデリバリー事業の容器包装の80%を使い捨てプラスチックから、再利用や堆肥化が可能なパッケージに移行することを目指す。

#### 企業価値との結びつき

- ・効率性の高い交通網の実現と、消費者の安全性確保を、温暖化ガス排出量の削減という社会の要請に応えつつ推進しており、企業価値の持続的な拡大が見込まれる。

## NOVO NORDISK A/S-B

### 概要

デンマークに本社を置くグローバル・ヘルスケア企業。主に糖尿病、肥満等の慢性疾患、血友病等の血液疾患向け製品とサービスを提供。世界中の患者に対してより良い治療の選択肢を提供するために、革新的な研究・技術開発を推進している。

メダルレーティング：ゴールド

### ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【情熱・技術・決意をもって糖尿病その他の慢性疾患を克服するための変革を推進する】

- ・2023年時点で、糖尿病患者4千万人以上にインスリン薬を提供。うち670万人には低価格化プログラムを通じ安価に治療薬が届けられた。
- ・赤十字社と連携し世界糖尿病基金を設立。
- ・生産や販売時に使用するエネルギー、水、原材料削減のため循環型の考え方を採用。
- ・遅くとも2045年までに全てのサプライチェーンからの温暖化ガス排出をネットゼロにすることを宣言。

### 企業価値との結びつき

- ・今後も糖尿病をはじめとする慢性疾患を患う人の数が増えることが予想される中、環境負荷を抑えつつ、慢性疾患克服に向けた変革を進める同社の取り組みが付加価値創造を牽引すると見られる。

## AMAZON.COM INC

### 概要

オンライン小売、クラウド・コンピューティング業界のリーダー。アマゾン・ウェブ・サービス（AWS）の継続的な開発と北米の電子商取引の拡大により長期的な付加価値創造を目指す。

メダルレーティング：シルバー

### ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【地球上で最も顧客を大事にする企業であることを目指す】

- ・2022年時点で事業全体で使用するエネルギーの再生エネルギー比率は90%に。2025年までに同比率を100%とすることを目指す。
- ・2015年以降、包装重量を1個あたり41%削減（合計で包装資材200万トンに相当）。
- ・2021年以降で黒人エグゼクティブが39%、中南米系エグゼクティブが32%増加するなど、ダイバーシティを推進。

### 企業価値との結びつき

- ・気候変動への具体的な対策を強力に推し進めつつ、消費者の利便性を高めており、持続的な業績の拡大及び企業価値の向上が期待できる。

## HDFC BANK LTD ADR

### 概要

インドの民間銀行最大手。トップクラスの資産残高を有し、ネットバンキングでも高シェアを誇る。圧倒的な市場シェアを占める国営銀行の経営は非効率的であり、同行は高経営効率等を背景に高成長を続ける見込み。

メダルレーティング：シルバー

### ESG評価（アライメント）の主なポイント～HELP&ACT～

【最高レベルの倫理基準、専門家としての誠実さ、コーポレートガバナンス、規制の順守を備えた、世界に通用するインドの銀行となることを目指す】

- ・サステナビリティ・レポートを定期的に公表し業務遂行体制の国連SDGsへの適合について言及。
- ・取締役会の責任のもと、環境ポリシーに基づいて様々な環境課題に取り組み、オンライン・サービスの拡充、太陽光発電を利用したATMなどのテクノロジーを導入。
- ・サステナブル・ライブリフッド・イニシアチブ等の活動を通じ、銀行サービスを利用できない人々に金融支援を提供。

### 企業価値との結びつき

- ・これらの取り組みが、安定的かつ持続的な事業運営の可能性を高めるとともに、コスト競争力の優位性維持を可能にし、企業価値を高めていくことが期待される。

(注) 上記は、組入銘柄の紹介を目的として、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクからの情報を基に委託会社を作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

## ○モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクが同社のスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について\*

運用チームは、ESGに関連する重要な機会やリスクに焦点を当て、投資先企業の経営陣と対話を行っています。対話の優先課題は企業ごとに異なります。運用チームは2023年に、複数の投資先企業とさまざまなトピックについて対話を行いました。以下はその実例です。

モビリティ・プラットフォーム企業との対話では、2020年に対話を開始して以降の、同社のサステナビリティに関わる優先度の高い事項（より良い労働環境、気候変動対策、責任ある消費と生産など）についての取り組み進捗状況について議論しました。ドライバーの安全確保と、賃金面をはじめとする処遇の改善は引き続き同社の重要課題であり、政府とも積極的な対話を継続しています。運用チームでは、同社のESG報告書および気候評価・実績報告書における、詳細な温室効果ガス排出量や従業員の多様性、公平性、インクルージョンのデータを含む、より包括的なサステナビリティ関連の開示にも注目しています。また、同社は100%リサイクル可能な包装を使用するようフードデリバリー・プラットフォームを利用する飲食店に促しており、最近では、2030年までに使い捨てプラスチック廃棄物を削減し、2040年までに廃棄物をゼロにする新たな目標を設定しています。

クリエイティブ・ソフトウェア企業との対話では、生成AI（人工知能）について議論しました。同社では、生成AIのトレーニングにあたり、プロのクリエイター志向のアプローチをとっており、顧客データを利用することはありません。生成AIは、何億もの画像やテンプレートを含む製品など、熟練したクリエイターが利用できる一連のツールの一つと見なされています。また、同社とは企業文化についても対話をしています。同社の優れた企業文化は、偶然ではなく意図をもって築かれてきたもので、継続的に改善が図られています。従業員には、興味深い業務、他社と比較しても恵まれた福利厚生、前向きな動機を持てるように設計されたチャレンジングな目標などが与えられています。さらに、非営利団体への支援や従業員主導のプログラムを通じて、若者や多様なクリエイターたちが自己表現の道を切り拓いていくための教育機会やツールを提供しています。

\*モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクの資料をもとに、アセットマネジメントOneが要約

## 今後の運用方針

米国の景気後退懸念が後退する一方、米大統領選挙を巡る不透明感などから、株式市場は変動の大きな展開が予想されます。ポートフォリオで保有しているのは、ESGへの取り組みに優れ、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。運用にあたっては、引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視し少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	1円 (1)	0.007% (0.007)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0)	0.011 (0.009) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	5	0.028	
期中の平均基準価額は16,427円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2023年7月15日から2024年7月16日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株	千円	千株	千円
		4.8 (-)	298,120 (-)	51.1	3,330,550
外 国	ア メ リ カ	百株 39,140.01 (665.76)	千アメリカ・ドル 463,825 (-)	百株 158,497.52	千アメリカ・ドル 1,856,087
	デ ン マ ー ク	百株 478.15 (18,315.72)	千デンマーク・クローネ 33,272 (-)	百株 8,241.08	千デンマーク・クローネ 719,944
	ノ ル ウ ェ ー	百株 - (-)	千ノルウェー・クローネ - (-)	百株 238,300.47	千ノルウェー・クローネ 464,599
国 内	ユ ー ロ	百株 8,813.32 (-)	千ユーロ 200,840 (-)	百株 198.74	千ユーロ 4,502
	イ タ リ ア	百株 685.32 (-)	千ユーロ 3,844 (-)	百株 5,985.57	千ユーロ 34,401

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	410,478,301千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,005,450,508千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.40

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

## ■利害関係人との取引状況等 (2023年7月15日から2024年7月16日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

### (1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
電気機器 (100.0%) キーエンス	千株 392.6	千株 346.3	千円 25,740,479	千円 25,740,479
合 計	株 数 ・ 金 額 392.6 銘柄数<比率>	株 数 346.3 1銘柄	千円 25,740,479 1銘柄	千円 25,740,479 <2.3%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、期末の国内株式評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

### (2) 外国株式

銘柄	柄	期 首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
AMAZON.COM INC		24,918.94	22,046.17	424,873	67,321,251	大規模小売り
ADOBE INC		9,685.05	6,100.27	345,098	54,680,837	ソフトウェア
BALL CORP		24,150.92	21,385.96	130,689	20,707,767	容器・包装
DECKERS OUTDOOR CORP		—	2,221.86	199,874	31,670,048	繊維・アパレル・贅沢品
THE WALT DISNEY CO		33,723.53	13,655.13	132,277	20,959,329	娯楽
ECOLAB INC		9,060.44	8,025.27	194,091	30,753,743	化学
SALESFORCE INC		14,383.47	7,807.78	197,427	31,282,391	ソフトウェア
ILLUMINA INC		4,412.82	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
HDFC BANK LTD ADR		70,999.95	62,730.8	378,141	59,916,483	銀行
INTUITIVE SURGICAL INC		5,485.62	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
MASTERCARD INC		5,955.29	5,264.41	233,739	37,036,071	金融サービス
LULULEMON ATHLETICA INC		—	4,197.72	119,097	18,871,032	繊維・アパレル・贅沢品
MERCADOLIBRE INC		2,394.04	1,808.41	315,384	49,972,736	大規模小売り
VISA INC		11,371.4	10,056.06	269,954	42,774,358	金融サービス
META PLATFORMS INC		8,618.77	7,018.09	348,209	55,173,803	インタラクティブ・メディアおよびサービス
SERVICENOW INC		10,007.52	8,113.75	623,014	98,716,614	ソフトウェア
SPOTIFY TECHNOLOGY SA		16,772.88	12,496.05	377,568	59,825,673	娯楽
UBER TECHNOLOGIES INC		135,329.73	83,173.7	601,262	95,270,071	陸上運輸
COUPANG INC		143,743.45	123,073.54	260,669	41,303,123	大規模小売り
ON HOLDING AG		—	23,233.84	87,336	13,838,389	繊維・アパレル・贅沢品
SHOPIFY INC		57,601.65	50,946.21	327,125	51,833,053	情報技術サービス
BLOCK INC		29,235.31	25,804.01	185,943	29,462,778	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数<比率>	617,850.78 19銘柄	499,159.03 20銘柄	5,751,780 —	911,369,560 <81.8%>	
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVO NORDISK A/S-B		21,620.4	32,173.19	3,131,416	72,429,665	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数<比率>	21,620.4 1銘柄	32,173.19 1銘柄	3,131,416 —	72,429,665 <6.5%>	

銘柄	株数	当期			業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ノルウェー) AUTOSTORE HOLDINGS LTD	百株 238,300.47	百株 -	千ノルウェー・クローネ -	千円 -	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	238,300.47 1銘柄	- -銘柄	- -	- <-%>
(ユーロ…フランス) SCHNEIDER ELECTRIC SE	百株 -	百株 8,614.58	千ユーロ 199,772	千円 34,474,673	電気設備
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	8,614.58 1銘柄	199,772 -	34,474,673 <3.1%>
(ユーロ…イタリア) MONCLER SPA	百株 46,030.3	百株 40,730.05	千ユーロ 231,753	千円 39,993,785	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	46,030.3 1銘柄	40,730.05 1銘柄	231,753 -	39,993,785 <3.6%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	923,801.95 22銘柄	580,676.85 23銘柄	- -	1,058,267,684 <95.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する各通貨別（ユーロは国別）株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

## ■投資信託財産の構成

2024年7月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	1,084,008,163	97.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	29,575,431	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,113,583,594	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,080,886,256千円、97.1％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年7月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=158.45円、1デンマーク・クローネ=23.13円、1ユーロ=172.57円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月16日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,113,583,594,355円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	28,695,060,095
株 式(評価額)	1,084,008,163,162
未 収 配 当 金	880,371,098
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,113,583,594,355
元 本	580,513,960,934
次 期 繰 越 損 益 金	533,069,633,421
(D) 受 益 権 総 口 数	580,513,960,934口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	19,183円

(注1) 期首元本額 702,851,436,875円  
追加設定元本額 0円  
一部解約元本額 122,337,475,941円

(注2) 期末における元本の内訳  
グローバルE S Gハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)  
580,513,960,934円  
期末元本合計 580,513,960,934円

## ■損益の状況

当期 自2023年7月15日 至2024年7月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,753,722,082円
受 取 配 当 金	3,309,267,834
受 取 利 息	445,687,220
支 払 利 息	△1,232,972
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	342,242,490,409
売 買 益	383,452,790,432
売 買 損	△41,210,300,023
(C) そ の 他 費 用	△113,226,694
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	345,882,985,797
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	262,682,171,683
(F) 解 約 差 損 益 金	△75,495,524,059
(G) 合 計(D+E+F)	533,069,633,421
次 期 繰 越 損 益 金(G)	533,069,633,421

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 《お知らせ》

### 約款変更のお知らせ

- 新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。  
(2023年10月14日)